

ふれあい

2013

10

No.319

牛久愛和総合病院 広報誌



「秋の竜神峡」撮影：循環器科 山崎 明

当院の「院内感染対策」について

院内感染対策委員会委員長 松木 克之

I 始めに

各種疾患の診断・治療の場で

ある病院はその一方で様々な病

原体に感染した患者さんが集ま

つてくる所であり、薬剤耐性菌

が多く検出される所でもあります。

更に病気を持っている方は

免疫能力が低下していることが

多く、病院は免疫能力を低下さ

せるような治療や手術等の高度

に体力を消耗するような治療を

施す事が多い所です。それらの

要因が病院外より病院内での各

種感染症の新たな発生（以下、
院内感染）の危険性を多くして
いると考えられています。

病院の役目上、院内感染は不
可避な面もありますが、発生を
ゼロに近づけることが安全な医
療の提供のためには不可欠との
認識を持つて、当院では感染防
止対策の推進に取り組んでいま
す。



II 感染対策に関する取組事項

a 院内感染対策委員会

感染防止対策に関する意思
決定機関です。院長や看護
部・事務関係の各部門長が
参加し、月に最低1回会議
を開き、感染に対する事項
の検討・決定を行っています。

感染対策としては患者さんの
ベッド移動（隔離を含む）・
面会制限禁止・接触者の感染
予防具の装着・各種消毒の徹
底・患者さんおよび関係者へ
の説明等などがあります。
報告し、連携して対応するこ
ともあります。)

b 院内感染対策チーム

（ICT）

院内感染対策制御活動全般
の実働組織です。定期的な
会議開催と院内感染関連巡
視（実態の把握と対策のた
め）、感染症治療薬の適正
使用指導、院内対策の相談
対応等を行っています。

c 看護部リンクナース会議

より現場に近い立場で感染
症の実態を把握し、対策の
実践を行っています。

2 院内感染に対する職員教育

全職員を対象に感染対策の研
修・講習会を年2回以上開催
しています。それ以外に各種
部門・職種別にも研修会を開
き、感染対策の意識・知識・
技術の向上に努めています。

3 感染症発生の実態把握と対策

薬剤耐性菌や感染症対策法上
問題となる細菌・ウイルス等
の発生状況を把握し病院全体
への周知や注意喚起を行い、
必要な時は感染対策を周知・
指導しています。（保健所へ
報告し、連携して対応するこ
ともあります。）

院内感染が疑われる患者さん
の発生や今後院内感染発生が
予想される細菌・ウイルス等
の発生が認められた時は各部
署よりICTへ速やかに報告
を行い、ICTはそれにより
現場の状況を把握・感染対策
の施行・感染拡大防止策の施
行を行います。

じて保健所にも報告し、連携して対応します。

5 患者さんへの情報提供

薬剤耐性菌や感染症対策法上問題となる細菌・ウイルス等の発生を認め、感染対策が必要な時には患者さん担当者より患者さんおよび関係者への説明をしています。

インフルエンザ等の感染症流行時期にはポスターなどの掲示物で情報（流行状況や予防法）を提供します。

6 他の病院との連携

当院は筑波メディカルセンターカー病院を中心とする感染対策に関する地域協議会に属しており、定期的に或いは必要に応じて協議会・研修会を開催して地域全体で感染対策に取り組んでいます。

7 その他

感染対策に対するマニュアルを作成し、病院各部署に配布して感染防止のために必要な考え方・具体的な方法の周知を全職員に図っています。全職員が標準的な感染予防として重要な手指衛生に努めています。

D M カフエ

糖尿病専門医



河邊 聰子

特任副院長 濑口 雅人

初めまして、私達は糖尿病診療チームです。DMとは糖尿病の略称です。ここでは、糖尿病教室やワンポイントアドバイスなどちょっと役立つ情報をお知らせします。当院では糖尿病専門医、糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士（栄養士、看護師、臨床検査技師、薬剤師）が連携して診療を行い、他院・クリニックからの糖尿病教育入院受け入れ、糖尿病公開講座などの活動を行っています。糖尿病教室は糖尿病に興味があれば、どなたでもご参加いただけます。予約不要、参加は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。



〈糖尿病教室のお知らせ〉

10月9日(水) 14時30分から

『糖尿病について』

担当..河邊医師

10月23日(水) 14時30分から

『外食の選び方』

担当..佐藤管理栄養士

場所 からだ情報館
11月は13日、20日、27日開催
予定です。詳しくは院内掲示をご覧ください。

外来化学療法室オープンに向けて

現在A館2階で工事中ですが、外來化学療法室が12月2日にオーブン予定です。

外来で化学療法を受けられる方専門のスペースであり、ベッドとリクライニングチェアを合わせて全10床の予定です。化学療法を専門とする看護師が常駐し、患者さんの状態の把握をします。また薬剤師も常駐し、抗がん剤の調剤を化学療法室内で行える設備が備わっています。更に何かあればすぐに専門の医師に連絡が取れる体制となっています。それぞれの科で別々に化学療法をするのではなく、専門のスタッフが整備されたとともに、患者さんと一緒に集めて、治療していくことで、外来化学療法のレベル向上など期待できます。中には薬剤投与に長時間かかる方もいらっしゃいますが、各ベッドにはT.V.も備え付けられており、飽きることなく、快適に治療が受けられる様になっていきます。現在化学療法を受けている患者さん。ぜひ楽しみにオープンをお待ちください。

入職者

9月17日付

保育園

保育士

阿部 久美子

看護師

鈴木 智

看護師

明るく楽しく癒し的存在感のある男性看護師でありたいです。

利用者様にとって、優しく、明るく楽しく癒し的存在感のある男性看護師でありたいです。





春秋園だより

今回は去る九月十六日に行われました入所フロアでの敬老会について紹介させていただきたいと思います。入所フロアでは、各階ごとに日にちを設定して、各フロアに入所されている利用者様全員参加のもと敬老会を行いました。



各階ごとに内容は異なるものの、スタッフによる余興やお茶会、敬老の日のお祝いとしまして細やかながらのプレゼント配布、簡単なインタビューを行いました。

一例として、四階フロアでの敬老会の様子をお伝えします。敬老会当日、皆様にディント配布、簡単なインタビューブルを囲みスタッフが用意したジュースやお菓子などを召し上がつていただきながら、プチカラオケ大会を実施しました。歌が上手な方は勿論のこと、歌があまり得意ではない方もスタッフと一緒に歌を楽しみ、昔の思い出を振り返つておられました。最後にプレゼントを渡し、皆様の笑顔が見られ、とてもよい敬老会となりました。(入所職員一同)

暑かつた夏もやつと終盤を迎えた。運動に適した季節となりました。猛暑が続いた今年の夏は冷房の効いた部屋で過ごす時間が長く、運動不足になっている方も多いのではないかと思うが、運動不足の身体は筋力低下・柔軟性の低下により怪我を招きやすい状態にあります。一心念発起で秋から運動しよう!と心に決めた方、運動会やスポーツ大会に参加予定の方など、まずは「ラジオ体操」での身体作業から始めてみる事をお勧めします。

誰もが一度は経験した事があるラジオ体操の歴史は古く、約80年前に「国民体操」として制定されラジオ放送で広く普及しました。第一・第二体操共に3分15秒と短い時間にまとめられ、13種類のエクササイズで構成されています。



たかが「ラジオ体操」、されど「ラジオ体操」!

「秋の身体作りは「ラジオ体操」から！」

スポーツリラックス 大山 恵子

テーマ

「脳卒中」

さあどうしよう！

急に手足に力が入らない！

言葉がでない！

11月15日(金)

14時30分から約一時間

日時

講師

竹下 幹彦医師

会場

牛久愛和総合病院

B館2階

大ホール

参加費

無料

今回は、「脳卒中」についてのお話です。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。

◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話
029-873-3111(代)

第40回

生活習慣病教室

が柿、ぶどう、なし、りんご、
りに行きました。当日は年長組
すする行事です。前日に子どもた
ちはすすきを近くの草原へ、と
りに行きました。(文責:リハビリ関野)

十五夜

5/19

編集だより

記録的な猛暑となった夏が終わり、秋の気配が感じられるようになりました。朝晩と昼の気温差が大きい季節でもあります。体調管理に気をつけましょう。(T・N)

9月19日(木)、マリア・ナーサリーでは、お月見集会を行いました。お月見は秋の実りに感謝した。

9月5日(火)アジア理学療法学会が開催されました。アジア8カ国で構成される国際学会の中で、「当院における訪問リハビリの早期介入の効果」についてポスター発表をしてきました。さまざまな国の理学療法士が、理学療法士として患者さんのために何ができるかという視点は各国共通であると改めて感じました。(文責:リハビリ関野)

9月5日(火)アジア理学療法学会が開催されました。アジア8カ国で構成される国際学会の中で、「当院における訪問リハビリの早期介入の効果」についてポスター発表をしてきました。さまざまな国の理学療法士が、理学療法士として患者さんのために何ができるかという視点は各国共通であると改めて感じました。(文責:リハビリ関野)



アジア理学療法学会
9/5~9

栗等、月見団子と一緒にお供えしました。保育士たちの人形劇では、たぬきが腹づつみを叩いていました。その後、みんなで「月」の歌を歌いました。集会後は団子作りをしてしまった。おやつではみんなで作つた、みたらしきなこの3種の団子を食べました。(草間)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設敷地 59,449.60 m² 駐車場 1032台

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100

診療科目**【一般外来】**

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
皮膚科(レーザー)

